様式第３号

事務事業評価表（平成２６年度）

事業コード	229	課コード	0404	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　■経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業	農業者と消費者の交流促進	実施計画への位置づけ	○有　●無
		個別事業	市民農園維持管理事業	②部課名	環境経済部・農政課
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　■天王台　■湖北　□新木　■布佐　□全市
	⑤事業期間	平成６年度　～		⑥担当職員数	5 人　（換算人数　0.25 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0 千円	当該(開始)年度	（当　初）11,067 千円　（うち人件費　2,325 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	22202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし
		基本計画地区別計画への位置づけ	●有　○無	部門別計画への位置づけ	（計画名）
(2)目的	施策目的・展開方向	多くの人が、生産者と身近な場で交流し、農業に親しみ、農業を楽しみ、農業を育むことができるよう、市民農園などの農業体験の場の提供を進めます。また、農業拠点施設や農家開設型ふれあい農園、農業まつりなどの生産者との交流の場に関する情報を積極的に提供します。		事業目的	市民に身近な農業体験の場を確保・提供するとともに、新規就農計画者の栽培技術等を習得するための支援の場を提供する。
(3)事業内容	内　容	年間を通じた市民農園の維持管理 ・農園管理（区画の耕運、除草作業、農事相談等）及び施設管理（浄化槽の保守点検・トイレ清掃） ・農園利用者の募集、利用者決定、利用契約、利用料の徴収など 日秀新田市民農園の２年間の試用（無償）期間（２４，２５年度）終了に伴い、改善の必要があると判断した施設の整備 ・用排水施設等設置工事		当該年度執行計画	４月　農園管理委託契約 ４～３月　農園利用申込み受付、利用契約 ４～６月　用排水施設等設置工事
				当該年度活動結果指標	市民農園利用区画数　単位：区画　想定値：218　実績値：

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該(開始)年度	利用区画数を増やす	直接	市民農園利用区画数	区画	218	230
３年後	利用区画数が増え、市民、就農計画者の利用が増えている	直接	市民農園利用区画数	区画	230	235
最終(概ね５年後)	利用区画数が増え、市民、就農計画者の利用が増えている	直接	市民農園利用区画数	区画	235	240

(7)事業実施上の課題と対応	・高野山市民農園は、使用料の値上げ及び周辺に利便性が良い民営農園が開設されていることによる利用者減が発生しており、空き区画の管理が困難になっており、今後の運用について検討が必要である。日秀新田市民農園については、利用ＰＲを進めるとともに、利用者の土づくり等をサポートしていく。	代替案検討	○有　●無

(8)施行事項

	平成２５年度		平成２６年度			平成２７年度		平成２８年度	
政策	内　容	金額(千円)	政策	内　容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内　容	金額(千円)	政策	内　容	金額(千円)
	・光熱水費及び施設修繕等維持・保全	298		・光熱水費及び施設修繕等維持・保全	280			・光熱水費及び施設修繕等維持・保全	280		・光熱水費及び施設修繕等維持・保全	280
	・市民農園用地及び施設の適切な管理	3,464		・市民農園用地及び施設の適切な管理	3,471			・市民農園用地及び施設の適切な管理	3,471		・市民農園用地及び施設の適切な管理	3,471
	・市民農園既存用地の確保	2,704		・市民農園既存用地の確保	2,704			・市民農園既存用地の確保	2,704		・市民農園既存用地の確保	2,704
	・手賀沼土地改良区賦課金	55		・手賀沼土地改良区賦課金	55			・手賀沼土地改良区賦課金	55		・手賀沼土地改良区賦課金	55
	・燃料費	6		・燃料費	7			・燃料費	7		・燃料費	7
	・消耗品費	18		・消耗品費	162			・消耗品費	162		・消耗品費	162
	・手数料	133	＊	・日秀新田市民農園用排水等対策工事	1,820							
＊	・堆肥場整備	893	＊	・日秀新田市民農園用排水等設計業務	243							
＊	・備品購入費	123										
予算(済)額	合　計	7,694		合　計	8,742			合　計	6,679		合　計	6,679

(9)財源内訳		平成２５年度		平成２６年度		平成２７年度		平成２８年度	
	国庫支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
	県支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
	起債	充当率 0 %	0	充当率 0 %	0	充当率 0 %	0	充当率 0 %	0
	一般財源		7,694		5,799		3,736		3,736
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他	2,943	□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他	2,943	□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他	2,943
(10)人件費等	換算人数(人)		0.25		0.25		0.25		0.25
	正職員人件費		2,325		2,325		2,325		2,325
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0
	臨時職員賃金額		0		0		0		0
事業費(予算(済)額＋正職員人件費)			10,019		11,067		9,004		9,004
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）		41.06千円／区画		50.77千円／区画					

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目		事　前　評　価		事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））		改善検討
必要性	(1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	都市住民の高齢化の進展や住民意識の多様化に伴って、健康づくり、生きがい、レクレーション、さらには教育の場として「自然とのふれあい」の要求が高まっている。農業体験のニーズも同様で、庭の一部を活用したり空き地を借りて野菜作りを行う市民が増えている。そういった中で、利用者が等しく、快適で安心して野菜づくりが体験できる活動環境を備えた市民農園が求められている。また、新しいタイプの新規就農支援機能を有した市民農園（日秀新田）では、新規就農者育成を進めていくことが必要である。		○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞		○要 ○不要
	(2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他	＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他	＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞	○要 ○不要
		●②自治体である市が推進すべきである （理由）■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他	＜その他の内容＞	＜その他の内容＞		

参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容	工夫の具体的な内容	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）	参加・協働の程度・内容	改善検討
		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ●③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 ＜その他の内容＞	市民農園管理には農業者組織の参画を得ており、農事相談、交流なども行っている。		○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要

環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点	取組む内容	実施した具体的な内容	環境への配慮	改善検討
		■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 ＜その他の内容＞	市民農園周辺の環境と調和している。		○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要

効率性

(1)目標設定は適切か？

現況値(a)(区画)	目標値(b)(区画)	目標値の妥当性のチェック	達成状況 実績値(f)(区画)	達成率(%)(f/b×100)		改善検討
218	230	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要

(2)事業費削減の工夫をしているか？

対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	事業費削減率(%)	実施予定の対策	実施状況 実績値(g)(千円)	対事業費(%)(g/c)×100		事業費の削減対策について	改善検討
11,067	△1,048	△10.46	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 ＜削減の内容＞			○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要

(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）

目標値対事業費(e)	単位	費用単位	計算方法	達成状況 実績値(h)	対目標値(%)(h/e)×100			改善検討
2.08	区画	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：(目標値－現況値)×費用単位／事業費			○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向